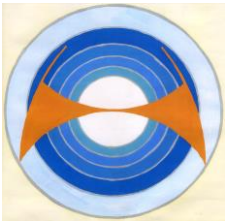

学校だより

横浜市立六つ川台小学校

６月号

令和４年５月３１日

URL:http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/
E-mail:ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

支えられる学校

副校長　　小山　雅史

新年度が始まり、２か月程経ちました。コロナウイルス感染拡大は収まりつつある様子もありますが、対策を講じなくてもよいという状況にはなってはおらず、まだまだいろいろな制限の中で生活を過ごしています。

さて、こうした中、今年度も学校での子どもの学びや生活をたくさんの方々に支えていただいております。「子どもの学び支援ボランティア」、「特別支援教育支援員」の方々には、低学年、個別級を中心に、子どもたちの学習の支援をしていただいたり、コロナウイルス感染症対策としての消毒作業をしていただいたりしております。検診や給食のお手伝い、校外へ出てまちの様子を探る学習活動にもお手伝いしていただきました。先日のなかよしデーでの全校遠足の際も、児童公園でのオリエンテーリングに一緒に参加してくださいました。ボランティアの方と日程調整をしてシフトを組み、学校と連絡するなど、こうした活動を支えてくださる方がおり、今年度本校の地域コーディネーターとしてお願いすることとなりました。

その他にも、子どもの登下校を見守ってくださる方、チューリップの花壇を整備してくださる方、野菜の育て方のアドバイスをしてくださる地域の園芸店の方がいます。４年生の環境学習や３年生の防災学習に地域の関係企業、関係機関などに携わってくださっています。子どもには直接見えませんが、長期休業中ウサギのお世話をしていただいている方もいます。

支えられているのは、子どもだけではありません。近年の「働き方改革関連法案」の成立・施行を機に、教職員の働き方についても、様々な形で多くの方の関心を集めるようになってきています。学校業務は多岐に渡り、勤務時間を超えて業務にあたる状況は、本校においても例外ではありません。子どもたちの学びがより豊かになるよう、授業準備や指導の振り返り、評価等を進めていますが、８時１５分から１６時４５分までの勤務時間内でその時間を十分確保できているとは言えません。こうした現状があり、ボランティア、支援員の方をはじめ、地域の方々の支援は、教職員にとって大きな助けとなっているのです。

スマートフォンのアプリケーションでの毎朝の健康観察や学校からのお知らせのメール配信、ご家庭の承諾のアンケート回答、勤務時間外の留守電なども、業務改善の一環です。皆様にご協力していただいていることが、本校の業務改善につながっています。改めて感謝申し上げます。引き続き、教育活動の充実に向け、業務改善を進めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。